

土地改良事業計画書

1. 目 的

本地区の水路を整備することにより農業の振興、農業用水の安定供給と集落及び地域の活性化を図る。

2. 地域、地籍及び現況

(1) 所 在 木田郡三木町井戸 地内

(2) 地 積 受益面積 2.3 ha 関係戸数 11 戸

(3) 現 況 当地区は、木田郡三木町井戸の東部に位置した、水田地帯であり、水稻が中心の営農であり、地区の水路は、主要幹線水路であるが勾配不均整な上、コンクリートの劣化が見られる為、漏水が顕著に現れるなど、円滑な配水に苦慮している。併せて、大雨時等には放流にも支障をきたしている。

3. 一般計画

- ・ 本地区の1戸当たり平均耕作面積は、21アールで土地が分散しているため、生産基盤が未整備である。
- ・ 水路の整備をすることにより、地域農業の振興と生産性向上のため、維持管理の軽減を図る。
- ・ 県道148号多和三木線と鍛冶池とに囲まれた水田地帯であり、緑豊かな田園地帯であることから、周辺の環境に配慮した整備とする。

4. 主要工事計画

(1) 水路延長 160 m 起点： 木田郡三木町井戸908-1

終点： 木田郡三木町井戸894

(2) 水路断面 $B = 0.30 \sim 0.40 \text{ m} \times H = 0.30 \sim 0.40 \text{ m}$

(3) 構 造 二次製品水路

5. 付帯工事計画

なし

6. 工事の着工及び完了予定期間

着 工 令和8年10月1日

完 了 令和9年1月20日

7. 環境との調和への配慮

本地区における環境との調和への配慮は、自然の生態系を保全しつつ、農地の持つ多面的機能や自然環境を維持するよう整備を進める。

8. 本施設の維持管理

本施設の維持管理については、木田郡二股土地改良区において管理する。

9. 事業費の総額及び内容

(1) 事業に要する費用

区 分	金 額 (千円)	備 考
工 事 費	11,264	
用地買収補償費	-	
測 量 試 験 費	1,236	
工 事 雑 費	-	
事 務 費	-	
計	12,500	10a当りの事業費 543,478 円

(2) 資金計画

区 分	金 額 (千円)	備 考
補 助 金	国 補 助 金	-
	県 補 助 金	6,250
	町 補 助 金	3,750 事業費の30%
	小 計	10,000
地 元 負 担 金	受益者負担金	2,500
	借 入 金	- 農林漁業資金 利率 償還期間 賦課基準
	小 計	2,500
	計	12,500

10. 事業効果

区 分	金 額 (千円)
作 物 生 産 効 果	1,006
維持管理節減効果	112
走行費用節減効果	0
そ の 他	-
年 総 増 加 額 計	1,118
廃 用 損 失 額	-

n : 30 総合耐用年数
 T : 1 事業着手から効果発生年数
 i : 0.04 割引率
 資本還元率 : $i(1+i)^n / (1+i)^n - 1$
 建設利息率 : $0.2 \times 0.4 \times 0.065 \times T$
 農家負担率 : 0.2

$$\begin{aligned}
 \text{妥当投資額} &= \text{年総増加額計} \div [\text{資本還元率} \times (1 + \text{建設利息率})] - \text{廃用損失額} \\
 &= 1,118 \div [0.0578 \times (1 + 0.0052)] - 0 \\
 &= 19,242
 \end{aligned}$$

$$\text{投資効率} = \text{妥当投資額} \div \text{総事業費} = 19,242 \div 12,500 = 1.53$$

※投資効率の基準値は1.00以上とする。

11. 計画図

(1) 位置図

別紙のとおり

(2) 平面図

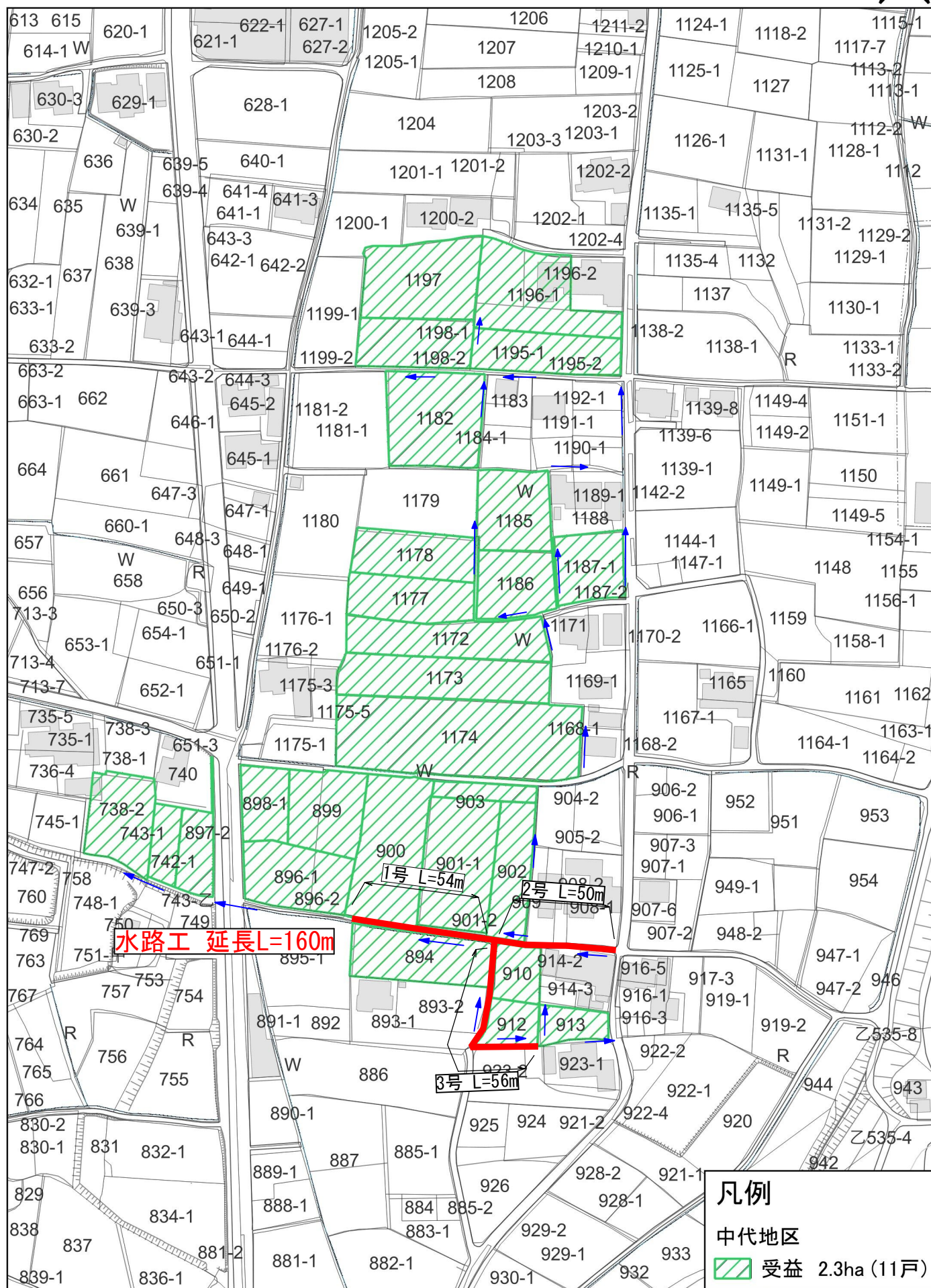
別紙のとおり

(3) 標準断面図

別紙のとおり

中代地区 位置図(受益図)

1:2,000



令和8年度 単独県費補助土地改良事業

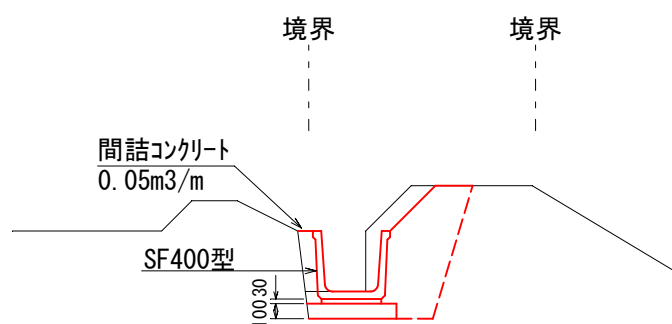
中代地区

水路工 L=54m



標準断面図

S=1:50



令和8年度 単独県費補助土地改良事業

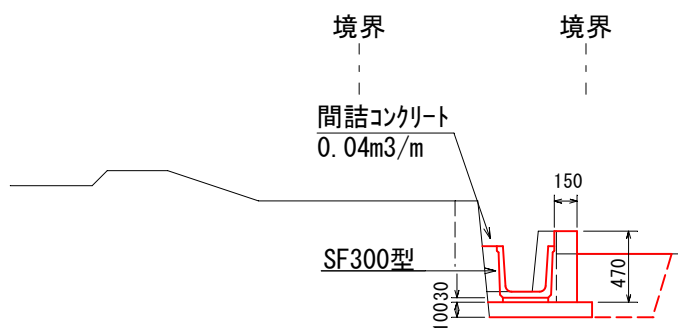
中代地区

水路工 L=50m



標準断面図

S=1:50



令和8年度 単独県費補助土地改良事業

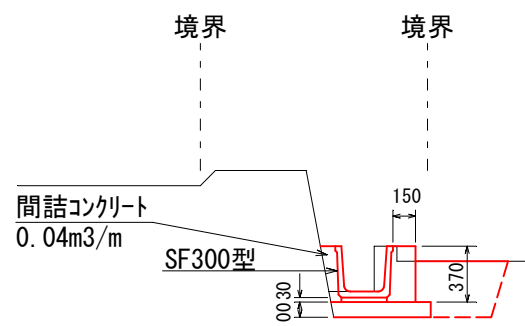
中代地区

水路工 L=56m



標準断面図

S=1:50



平面图

1:1,000

